

王子総合高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：

使用教科書： (高等学校「新地理総合」 (帝国書院))

教科 地理歴史 の目標： 国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力の育成を目指す。

【知識及び技能】現代の諸課題を考察し、選択・判断するための概念や理論を理解するとともに、情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、社会参画を視野に構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、主権を尊重し各国国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 1 地球上の位置と私たちの生活 2 時差と私たちの生活 2節 地図の役割と種類 1 地球儀と地図 2 身の回りの地図 3 統計地図の種類と利用 4 地理情報システム (GIS) の活用 第2章 結び付きを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 1 現代世界の国家 2 日本の位置や領域 2節 グローバル化する世界 1 国家間の結び付き 2 貿易によって結びつく世界 3 さまざまな交通網の発達 4 世界を結ぶ通信網の発達 5 観光のグローバル化	【知識及び技能】 ①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 ②現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	第2部 国際理解と国際 第1章 生活文化の多様性と国際理解序説 生活文化の多様性 1 生活文化を考察する方法 1節 世界の地形と人々の生活 1 大地形と人々の生活 2 変動帯と人々の生活 3 安定地域と人々の生活 4 河川がつくる地形と人々の生活 5 海岸の地形と人々の生活 6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 1 気温・降水と人々の生活 2 大気循環と人々の生活 3 世界の植生と気候区分 4 熱帯の生活 5 乾燥帯の生活 6 温帯の生活 7 亜寒帯・寒帯の生活 追究事例 自然1 乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 -オセアニア- 1 人々をひきつける多様な自然環境 2 自然環境を生かした産業と人々の生活 追究事例 自然2 モンスーンの影響を受ける地域での生活 -東南アジア- 1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活 2 気候を生かした農業と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活 1 世界の言語と人々の生活文化 2 世界の宗教と人々の生活文化 追究事例 宗教1 イスラームと人々の生活の関わり -中央アジア・西アジア・北アフリカ- 1 イスラームを中心とした生活文化 2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化	【知識及び技能】 ①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 ②世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	追究事例 産業2 経済成長による人々の生活の変化 -東アジア- 1 東アジアの経済成長とその歩み 2 経済成長による中国の生活の変化 3 経済成長による韓国の生活の変化 追究事例 産業3 地域統合が人々の生活や産業に与える影響 -ヨーロッパ- 1 EU統合と人々の生活 2 EU統合による農業への影響 3 EU統合による工業や社会への影響		○	○	○	6	

2 学 期	<p>①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</p> <p>②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>1節 複雑に絡み合う地球的課題</p> <p>1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて</p> <p>2節 地球環境問題</p> <p>1 多様な地球環境問題</p> <p>2 熱帯林の破壊への対策</p> <p>3 地球温暖化への対策</p> <p>3節 資源・エネルギー問題</p> <p>1 世界のエネルギー・鉱産資源</p> <p>2 エネルギー利用の現状と課題</p> <p>3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み</p> <p>4節 人口問題</p> <p>1 世界の人口</p> <p>2 発展途上国と先進国の人口問題</p> <p>3 地域で異なる人口問題への取り組み</p> <p>5節 食料問題</p> <p>1 飢餓と飽食</p> <p>2 地域で異なる食料問題への取り組み</p> <p>6節 都市・居住問題</p> <p>1 世界の都市の発展</p> <p>2 発展途上国と先進国の都市・居住問題</p> <p>3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
3 学 期	<p>①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>②さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術を身に付ける。</p> <p>③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境</p> <p>1 日本の地形</p> <p>2 日本の気候</p> <p>3節 火山災害と防災</p> <p>1 火山の恵みと災害</p> <p>2 火山と共生する地域の取り組み</p> <p>4節 気象災害と防災</p> <p>1 さまざまな気象災害</p> <p>2 気象災害への取り組み</p> <p>5節 自然災害への備え</p> <p>1 減災の取り組み</p> <p>2 被災地への支援</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <p>②さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1節 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>1 地理的な課題と地域調査</p> <p>2 現地調査の準備</p> <p>3 現地調査の実施</p> <p>4 調査の分析と発表</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>				6
							合計
							42